

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)南亀井町工場 新築工事	階数	地上1F
建設地	大阪府八尾市南亀井町4丁目	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	7人
地域区分	5地域	年間使用時間	1,500時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年8月 予定	評価の実施日	2019年11月1日
敷地面積	4,968㎡	作成者	高橋 寛
建築面積	2,034㎡	確認日	2019年11月5日
延床面積	2,012㎡	確認者	森田 祐次

本図を右クリックし、「図の変更」を選択していただくことで、外観図等を貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

機能性 耐用性 対応性

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

生物環境 まちなみ 地域性・

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 0.0

建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

水資源 非再生材料の 汚染物質

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化 地域環境 周辺環境

3 設計上の配慮事項		
総合	大阪府八尾市に建設する工場の計画である。建物周囲にゆとりを持たせ、特に東側住宅地への環境に配慮した。	その他 特になし。
Q1 室内環境	対象外。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い外装材、内装材を採用し、ゆとりのある階高、空間構成により利用者の快適性を高めている。
Q3 室外環境(敷地内)	対象外。	特になし。
LR1 エネルギー	対象外。	LR2 資源・マテリアル 節水機器の採用により水資源に配慮している。
LR3 敷地外環境	対象外。	LR3 敷地外環境 大気汚染防止及び光害の抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-142

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)南亀井町工場 新築工事					
		建設地	大阪府八尾市南亀井町4丁目					
		用途/区分	工場					
【評価結果】		CASBEE 総合評価				B-1		
①	CO2削減				評価対象外			
②	みどり・ヒート アイランド対策				2			
③	建物の断熱性				評価対象外			
④	エネルギー削減				評価対象外			
⑤	自然エネルギー直接利用				—			
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価					-	
② みどり・ヒートアイランド対策							2	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				2.0		
		温熱環境悪化の改善				CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					-	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					-	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								